

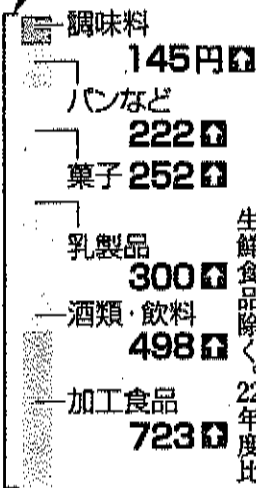
# 食費負担 月2140円増

## 23年度民間推計 相次ぐ値上げで

食品の相次ぐ値上げで、2023年度の1世帯当たり生鮮食品を除く食費が前年度と比べ月平均2140円増えるとの推計を、帝国データバンクが31日発表した。年間では2万5750円増とした。電気代などを含め家計負担は増すばかりだ。飲料や食品の上場企業105社と非上場90社を対象

食品値上げによる  
2023年度の  
家計負担

月額 2140円↑  
年間 2万5750円↑



※帝国データバンクの推計、生鮮食品除く。22年度比

に3月末時点ですべてまとめた調査結果と、総務省が行った21年度家計調査の2人以上世帯の消費支出データから

食費負担増を品目別に見ると、ソーセージなどの加工肉や水産加工品、冷凍食品と

算出した。23年の食品値上げは累計で2万品目を超えているのが現実視されるとして、食費負担は年後半にかけて重くなる可能性が高いと分析している。

いった「加工食品」が月723円。ウイスキーや缶コーヒーなど「酒類・飲料」が498円と見込んだ。牛乳など購入頻度が高い商品が多い「乳製品」は300円アップ。チョコレートなどの「菓子」は252円、マヨネーズなどの「調味料」も145円それぞれ増えると試算した。帝国データによると、23年に入って値上げしたか、値上げを予定する食品は計1万8544品目に上った。4月は5106品目が対象となっている。